

新北 淡水周辺歴史地区

テーマ:歴史



台北市中心部から北西部に位置する淡水は、淡水河の河口に広がる港町。スペイン、オランダ、清、イギリス、日本と様々な国が入り混じった歴史を有する。

MRT淡水信義線の終着駅となる淡水駅前の活気ある旧市街を抜け坂を上ると西洋建築が点在、紅毛城、淡水礼拝堂、イギリス領事館跡など、有名な歴史地区である。紅毛城や淡水老街など歴史を感じるスポットが残り、夕日が美しい観光地としても知られています。

2025年には、淡水河口に架かる淡江大橋が新たなランドマークとして完成。世界でも珍しい単塔式の斜張橋(ザハ・ハデイド設計)で、2026年春開通予定。淡水と八里を結ぶ新たなランドマーク、淡水名物の夕日を遮らない美しい曲線が特徴的。多機能な橋:自動車、自転車、歩道のほか、淡海ライトレールも運行

企画視点

主要都市からのアクセス

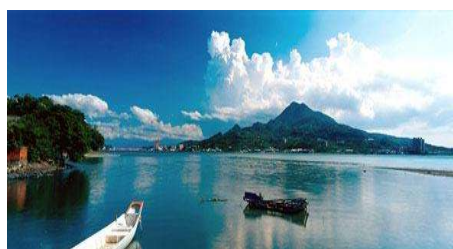
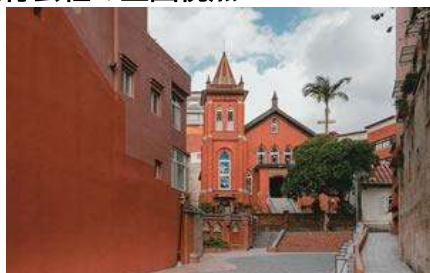
周辺の地図

<https://maps.app.goo.gl/6gHqeurWDQ9JshAC8>

主要都市:新北市淡水区

台北駅からMRT淡水信義線で約40分、車で約1時間

旅行会社の企画視点



台北市内からMRTで約40分とアクセスしやすく、歴史散策と夕景観賞を楽しめる人気エリア。淡水老街や紅毛城などの歴史スポットと海辺の景観を組み合わせ、台北市内観光の半日コースや夕方立ち寄り型ツアーとして企画しやすい。

近隣の観光スポット:

淡水埠頭、淡水礼拝堂、
イギリス領事館跡、
真理(オックスフォード)大学、淡水大橋

地域資源の視点



淡水はスペイン、オランダ、清、日本など多様な統治時代の歴史が重なった港町で、紅毛城や旧領事館など歴史建築が残る文化景観資源。河口の自然景観と港町文化、夕景が調和し、台湾北部の歴史と国際交流の歩みを伝える地域資源となっている。

関連情報リンク先

台湾観光庁-淡水老街 <https://jp.taiwan.net.tw/m1.aspx?sNo=0003091&id=19>

問い合わせ先 / 画像提供:台湾観光庁